

「取組みの進展が見られる企業」等に関する 機関投資家アンケート

2026年6月12日

株式会社東京証券取引所

上場部



「取組みの進展が見られる企業」等に関する機関投資家アンケートの実施について

- ◆ 東証ではこれまで、個別のヒアリング等に基づき、投資家が一定の評価をしている企業の取組み事例を取りまとめ、公表してまいりましたが、今般、**より幅広く、取組みを進める企業にスポットライトを当て、取組みの加速を後押し**するため、国内外の機関投資家を対象として、資本コストや株価を意識した経営の観点から「**取組みの進展が見られる企業**」等に関するアンケートを実施します。
- ◆ 本アンケートで機関投資家の皆様からいただいたご意見については、取組みを進める企業が更に取り組みを加速していくモチベーションとなるよう、**回答が集まった企業名とその評価ポイントを取りまとめ、「投資家が取組みの進展を評価している企業」として本年夏頃に公表**します。
- ◆ 機関投資家の皆様におかれましては、上場会社の中長期的な企業価値向上の実現に向けた更なる取組みを後押ししていくため、**積極的なご回答をお願い申し上げます**。
- ※ あわせて、**日本企業に対して改善を期待することや日本市場の魅力向上に向けて期待すること**、また、リソースやノウハウ不足等により**開示に踏み出せていない企業に対して、取組みの第一歩として期待すること**などについても、ご意見を募集しておりますので、ぜひご回答ください。
- ※ いただいたご意見を踏まえ、個別にヒアリング等をお願いさせていただく場合もございますので、ぜひご協力いただけますと幸いです。

「取組みの進展が見られる企業」等に関する機関投資家アンケートの概要①

対象

◆ 国内外の機関投資家

- ※ 1社につき、複数の担当者様からご回答いただくことも可能です。
- ※ 事前に同意いただいた場合、アンケートにご回答いただいた機関投資家のリスト（アンケート結果とともに公表）に社名を掲載します。その場合でも、個社名と個別の回答内容が紐づく形で公表することはありません。社名を非公表とする場合でも、ご回答は可能です。

回答方法

◆ 以下の提出フォームからご回答ください。

提出フォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/54Snjz49qv>

- ※ 上記提出フォームをご利用できない場合は、「メール提出フォーム」にご回答のうえ、当取引所のメールアドレス（jojo-kikaku@jpx.co.jp）までご送付ください。

回答期限

◆ 2026年7月17日（金）までにご回答ください。

- ※ 期限までのご回答が難しい場合は、当取引所のメールアドレス（jojo-kikaku@jpx.co.jp）までご相談ください。

「取組みの進展が見られる企業」等に関する機関投資家アンケートの概要②

アンケート質問項目（概要）

1. 資本コストや株価を意識した経営の観点から「取組みの進展が見られる企業」とその「評価するポイント」を教えてください。

- ✓ 市場区分/規模別の4区分（①プライム1,000億円以上、②プライム1,000億円未満、③スタンダード100億円以上、④スタンダード100億円未満）ごとに、それぞれ最大10社までご回答ください。
- ✓ 評価の観点として、当取引所が4月に公表した要請アップデート（対応のポイント※）を参考としていただくことが考えられますが、必ずしもこれらのポイントに限られるものではなく、中長期的な企業価値向上の観点から、取組みの進展が見られる企業や、他社にも取り組んでほしい優れた取組みを進める企業をご回答ください。

※ 更なる取組みの推進に向けた対応のポイント <https://www.jpx.co.jp/equities/follow-up/jr4eth000004vj2-att/t13vrt0000013v5w.pdf>

- ① 中長期的な経営方針（目指す姿や成長の道筋）を明確に示しているか
- ② 目指す姿に向けた資本の使い方（配分や優先順位）を明確に示しているか
- ③ 保有する資産について、価値創出のため最適な状態となっているか
- ④ ①～③について、取締役会レベルで、実効的な議論・監督を行っているか

- ✓ 時価総額の区分は、最終的に東証で再整理するため、回答にあたって厳密に区分していただく必要はありません。

2. 日本企業に対して、中長期的な企業価値向上の観点から更なる改善を期待することや、日本市場の魅力向上に向けて、取引所やその他関係者に期待することなどございましたら自由にご記載ください。

3. また、東証では、今後、リソースやノウハウ不足等により、検討は進めているものの開示に踏み出せていない企業に対して、まずは開示の第一歩を踏み出したうえで、投資家との対話を通じて段階的に改善していくアプローチを働きかけていく方針です。そうした企業の第一歩として、望まれる開示内容などがあれば教えてください。あわせて、そうした企業にとって参考となる企業の事例（段階的な改善事例）がありましたら教えてください。